

無線LANについて




イー・アクセス株式会社

2012/4/26

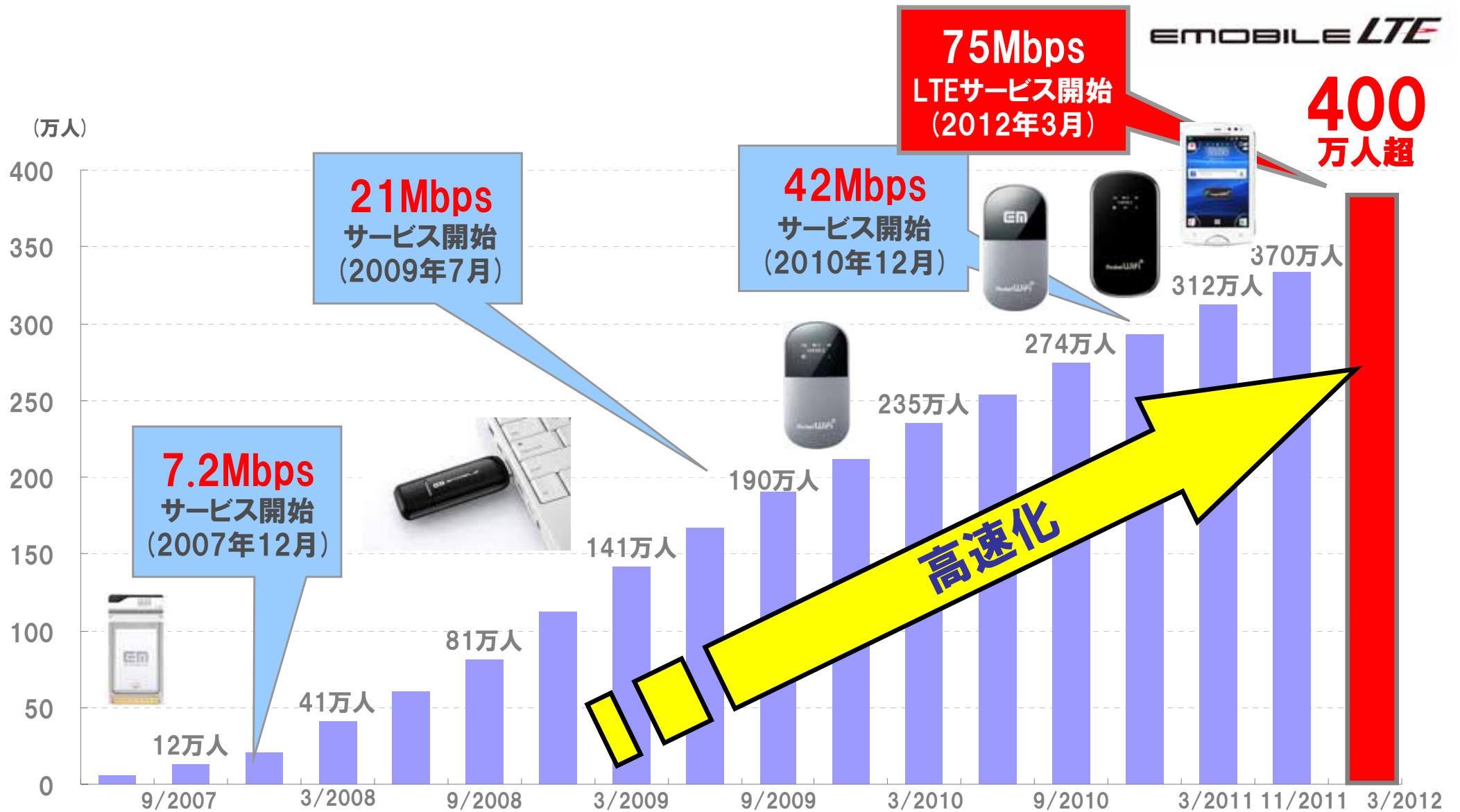
当社事業について

ブロードバンドの普及を推進する総合ブロードバンド事業者

イー・アクセス株式会社 (東証一部:9427)

設立	1999年11月1日
売上高(2011年度予測)	約2,030億円
従業員数	約1,300名
主な事業内容	ADSLサービス
	モバイル通信サービス
コーポレートロゴ	
ブランドネーム ブランドロゴ	

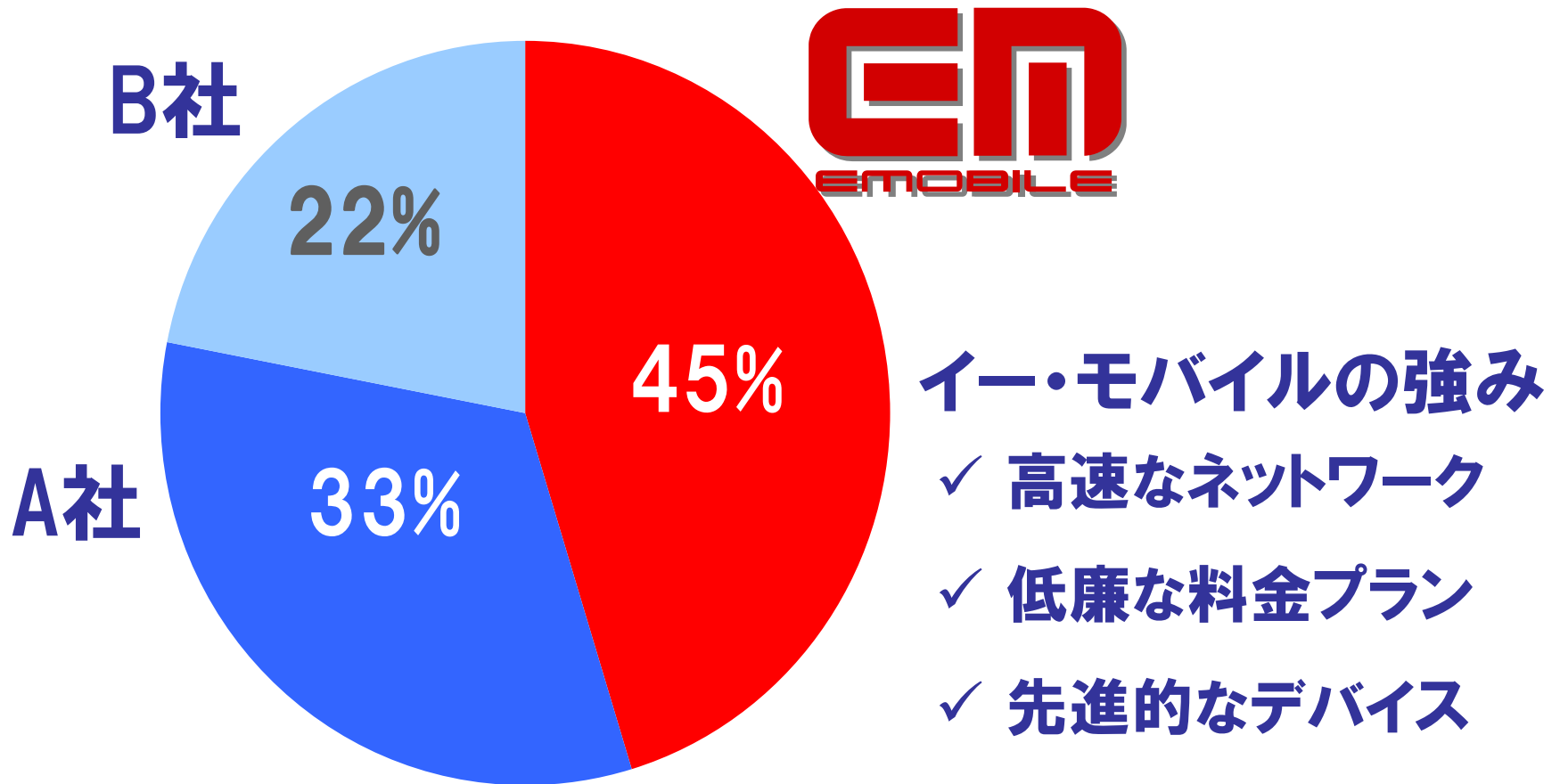
2011年度末の加入者数は400万人超を達成



高速なネットワーク、低廉な料金と先進的なデバイスにより
2007年のサービス開始以来、モバイルブロードバンド市場を創出

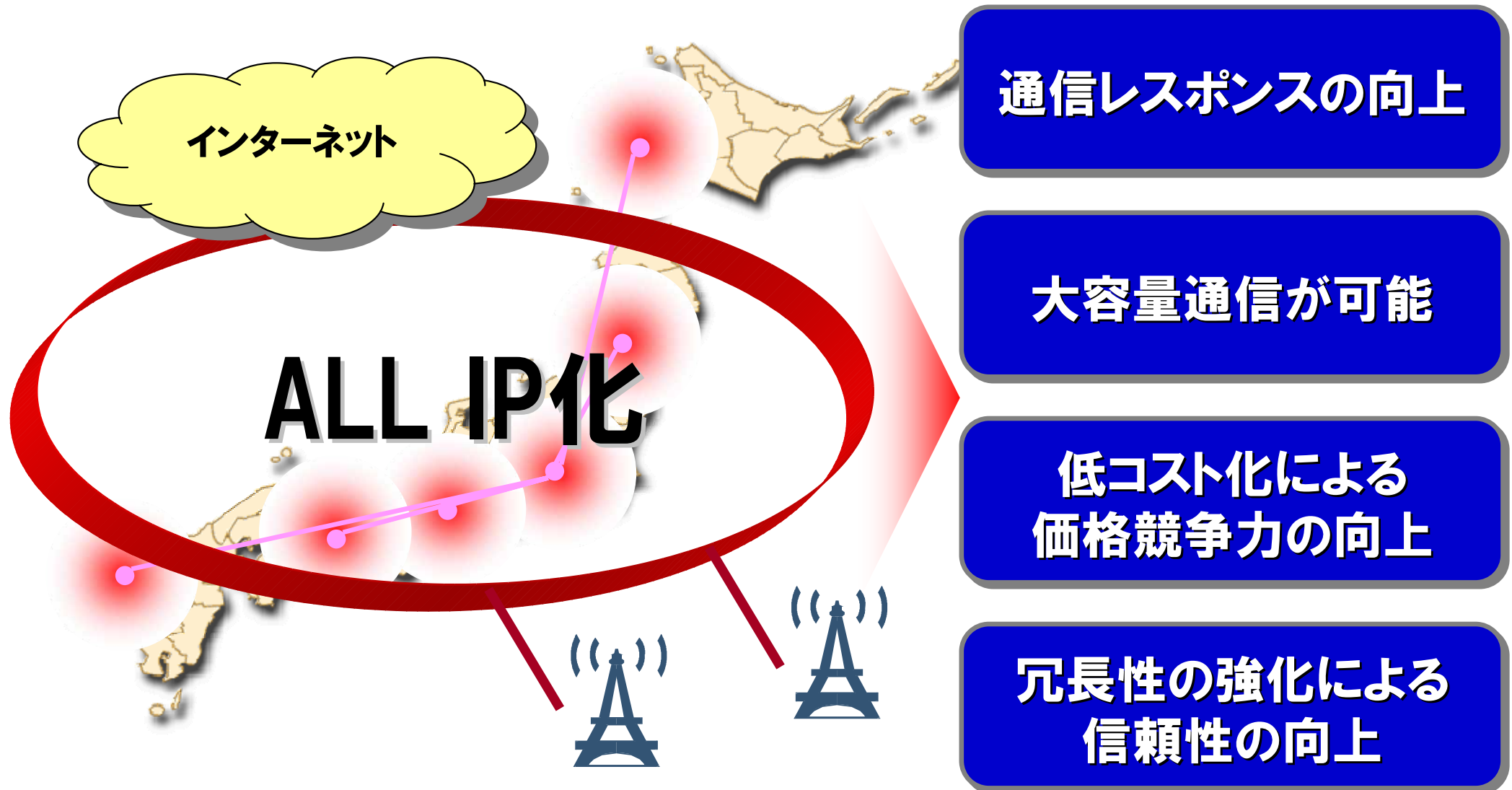
●モバイルブロードバンド市場シェア

2011年12月末現在



出所: TCA、会社公開情報

モバイルブロードバンドに適したALL IP化（Gigabit Ethernet化）を推進



新たな
モバイルブロードバンド
需要の開拓

Pocket WiFi (モバイルWiFiルーター)

- ✓ 2009年11月 他社に先駆け発売
- ✓ 発売開始より連続売上NO.1を達成*

当社の主力商品

*2009年12月から2011年6月までのGfK Japanデータ「モバイルルーター」部門のキャリア(通信事業者)別期間累計販売数量シェアにおいて。

データオフロードへの
取組み

公衆無線LANオプション

- ✓ 2011年10月より提供開始
- ✓ オプションサービス

Pocket WiFi

無線LANのアクセスポイントがない場所でも、Wi-Fi利用が可能

Pocket WiFi[®]とは

携帯の電波を利用していろいろなWi-Fi機器のネット利用を可能にする新世代の無線インターネットです。



Wi-Fi対応機器が最大5~10台まで同時接続可能

Pocket WiFiの進化



2009年11月
D25HW 発売開始

7.2Mbps対応

2011年1月
S31HW 発売

テザリング対応

2011年3月
GP01 発売

21Mbps対応

2011年6月
GP02/S41HW 発売

42Mbps対応

2012年3月
GL01P/GL02P 発売

LTE対応

新たなユーザーニーズに応える革新的なデバイスとして開発

Wi-Fi対応機器の
多様化

1契約で
複数の機器を接続

データ通信の
利用シーン拡大



PocketWiFi



どこでも(※5)ゲームでオンライン対決



家族みんなのネットライフに



ビジネスのワンシーンに

2012年3月に、LTEに対応したPocket WiFiを発売

Pocket WiFi **LTE**

GL01P



GL02P

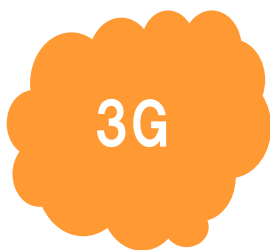


NW側	通信方式	LTE / DC-HSDPA
	最大通信速度	受信:75Mbps/送信:25Mbps
端末側	無線LAN規格*	IEEE802.11b/g/n準拠、 ARIB STD-T66準拠
	無線設定	WPS(WiFi Protected Setup™)
	セキュリティ	WPA2™-PSK(TKIP/AES) WPA™-PSK(TKIP/AES) WEP 128/64bit
	連続通信時間	9時間
	電池容量	3,000mAh
	同時接続	10台

*2.4GHz帯のみ対応

当社はスマートフォン*についても、
Pocket WiFi機能(テザリング機能)を追加料金なく提供中

テザリング機能



テザリング
(Wi-Fi通信)



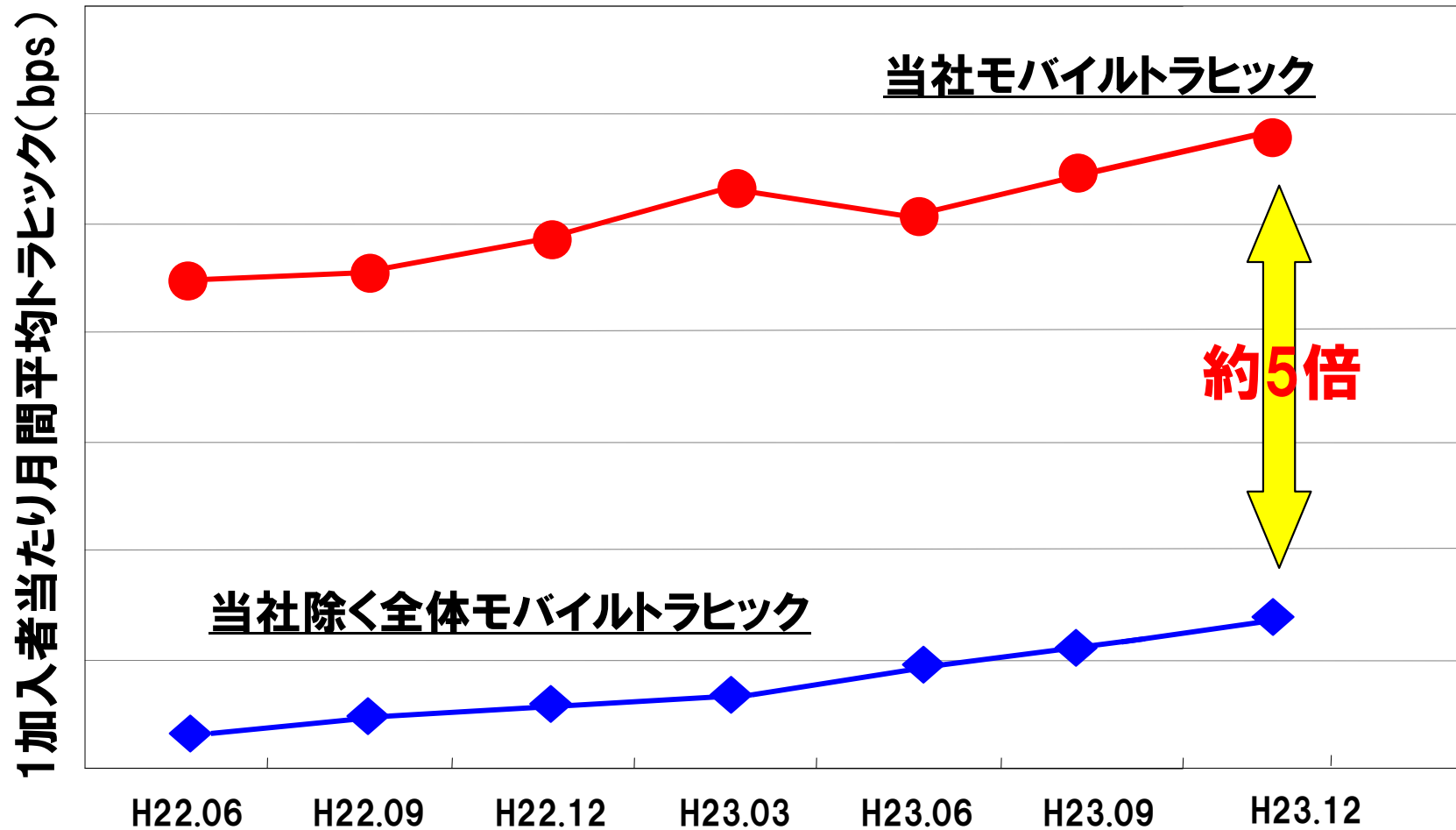
ウィジェットを
ワンタッチ



*2012年3月現在の対応機種:S31HW、S41HW、S42HW、S51SE、GS01、GS02

公衆無線LAN対応

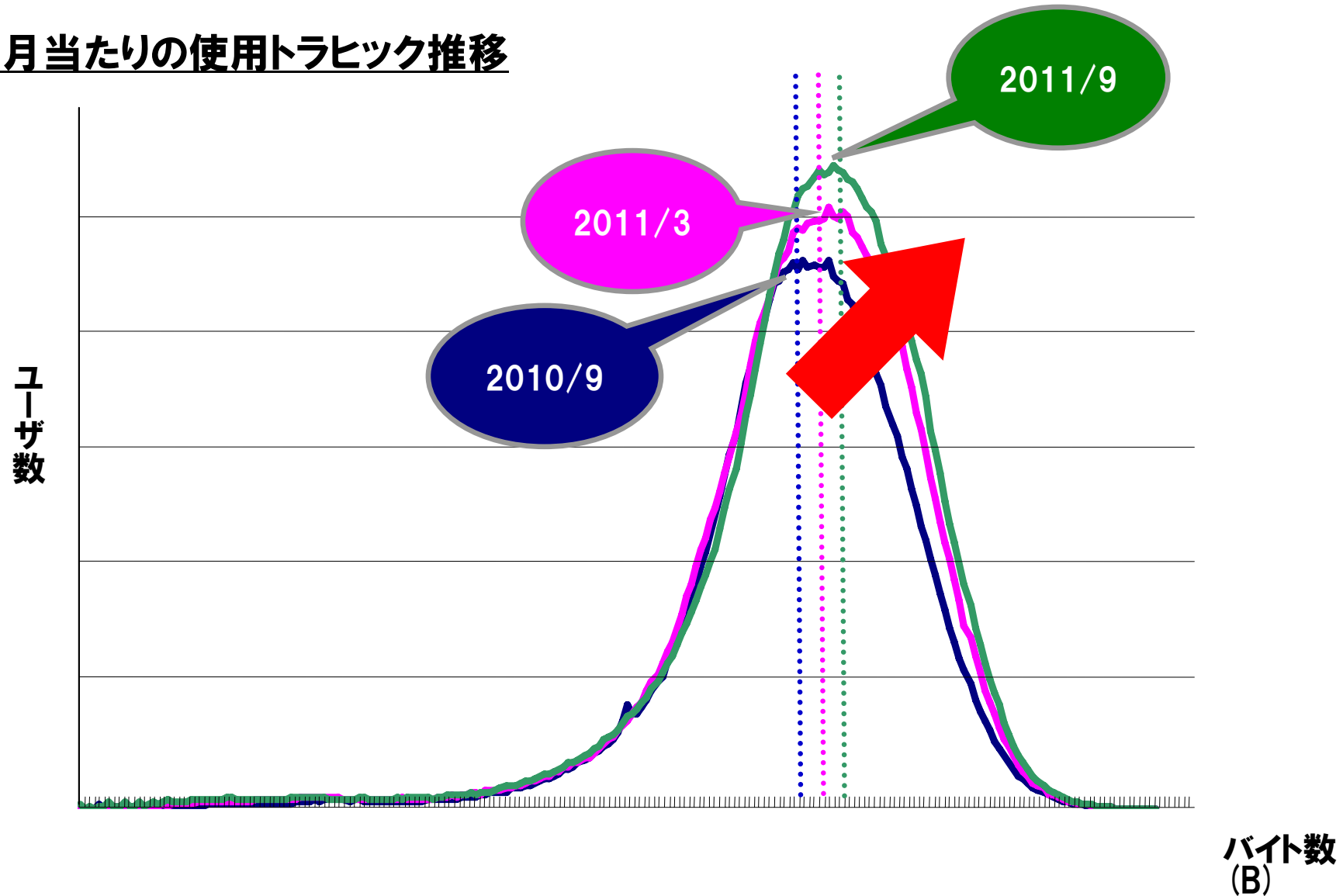
データ通信が主力である当社の1加入者当たりのトラフィックは、
全体モバイルトラフィックからみて約5倍の高水準



出所：総務省『情報通信統計データベース』、及び当社実績

速度向上に伴って、使用トラフィックのピークも徐々に高トラフィック側へシフト

1か月当たりの使用トラフィック推移



2011年10月よりアグリゲータとの協業により公衆無線LANサービスを開始

無線LANオプション概要



- ✓ 月額380円(税込)、最大54Mbps
- ✓ 音声・データ通信サービス契約者へのオプション
- ✓ 無線LAN役務提供はクラスト社
- ✓ BBモバイルポイント、Livedoor Wireless、モビネットの合計11,000箇所以上のアクセスポイントが利用可能
- ✓ フレッツスポット(NTT東西殿の無線LANサービス)と別途契約することで、さらに9,000箇所以上のアクセスポイントが追加利用可能

利用可能なAP ※スターバックス・マクドナルド、JR各駅、私鉄各駅で利用可

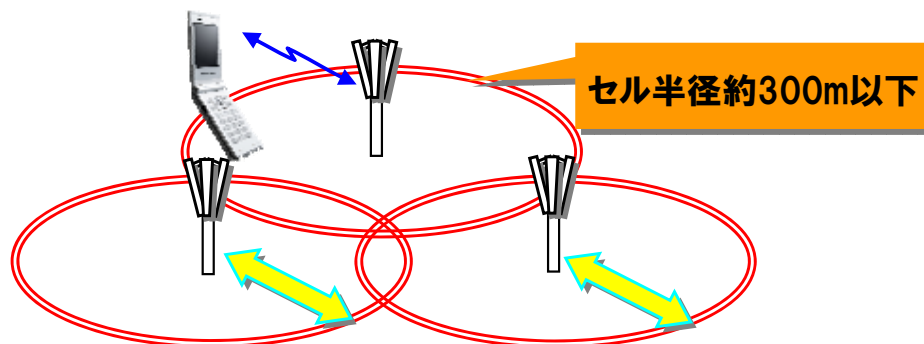


オプション210円/月(税込)

9,000箇所以上のAPが追加利用可能

トラヒック逼迫対策として、各種対応策を実施

小セル基地局の拡大/屋内対策 (高トラヒックエリア)



速度制限による帯域制御

- ✓ 2010年8月より帯域制御強化
- ✓ P2P等のトラヒックをネットワーク混雑時である21:00~翌2:00に速度制限 (Webトラヒック等は制限なし)
- ✓ 帯域制御強化後、ピーク時10%程度トラヒック低下

制限メニューの導入

EMOBILE G4
データプラン B

- ✓ 利用可能データ通信量:5GB/月
- ✓ 常時接続的に利用される通信プロトコルを制限
- ✓ 利用可能な通信例



固定ブロードバンドとのFMCサービス

- ✓ 固定回線事業者との協業
- ✓ 時間帯定額型メニューの導入



問題意識と課題

WiFi需要の拡大とデータ通信の高速・大容量化により、
利用シーンが同一化

数年前

利用シーンや端末は別

公衆無線LAN
(データ中心)

携帯電話
(音声中心)



WiFi需要の拡大

高速・大容量化

現在

シームレス化



公衆無線LAN

携帯電話
(スマートフォン、WiFiルーター)

混信

トラヒック
逼迫

多角的に環境の整備を行う取組みが必要

公衆無線LAN

- ✓ 5GHz帯への移行促進
- ✓ アクセスポイントの共用

需要の
分散化

携帯電話

- ✓ 周波数の早期拡張

アクセス回線の光ファイバ化

- ✓ ファイバ料金の低廉化⇒コスト構造の改善
- ✓ サービス品質向上

利用者利便の向上

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。